学校番号	1015

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語科	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第３学年	VISTAⅡ(三省堂)

担当者からのメッセージ(学習方法など)

・英語Ⅱでは基本的な語彙力や読解力を高め、初めて触れる英語でも理解できるようになってもらいたい。また、理解力（インプット）のみならず、単元ごとに学んだ文法、語彙などを活用するアクティビティをとりいれて、表現(アウトプット)する英語も身につけられるようにしたい。

・文法や語彙については、実際のどのように使えるか、ということも意識してください。

・英語Ⅱの授業では積極的に音読、発音指導をしていきたい。アウトプットのためのインプットを心がけるため、意味を理解してから音読などをすることを意識してください。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・前もって準備した上で、決まった表現や形式を用いて英語で発表できる。	英語Ⅱ スピーチ プレゼン	・学習した簡単な語や基礎的な表現を用いて、文を書くことができる。	英語Ⅱ ライティング小テスト 定期考査	・学習した語やフレーズをゆっくり読めば理解できる。	英語Ⅱ リスニング小テスト 定期考査	・学習した語やフレーズが含まれる初めての英文を理解できる。	英語Ⅱ 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

４　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
前期中間まで （１４時間）	・書道という伝統文化について（部分否定）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・[l],[r]の発音を意識しながら発音しようとする。	・音読練習	・英単語を正しく発音できているか	・音読テストを行う。
		「外国語表現の能力」			
		・部分否定を使った表現ができるようになる。	・ワークシートを用いて練習後、何も見ずに発表。	・正しく部分否定を活用できているか。	・小テスト
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では実施しない。）	・本文に即した確認問題を解く。	（本単元では設定しない）	なし
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・書道の過去と現在について理解する。	・授業の開始時に前回の復習クイズとして確認問題をする。	・問題に正しく答えられているか。	・ワークシートで確認
前期期末まで （１４時間）	・水族館の今と昔について（関係代名詞）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・関係代名詞についての理解を深め、積極的に運用しようとすることができる。	・関係代名詞を用いた表現を学ぶ。	・間違いをおそれず、表現しようとする。	・積極的に発話しようと意欲を見せる。
		「外国語表現の能力」			
		・関係代名詞についての理解を深め、運用できる。	・ワークシートなどを用いて、理解を深める。	・単元の文法であれば、所見の英語も理解できているか。	・小テスト・定期テスト
		「外国語理解の能力」			
		・文法を学んだ後、教科書の内容が理解できる。	・日本語訳を理解したうえで、何度も音読をする。	・英語の意味を理解した上で、読むことができているか。	・定期テストで判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・水族館の今と昔について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・例示する表現の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
後期中間まで １４時間	・日本ととるこの友好関係（過去完了・強調構文）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		後期中間まで １４時間	・日本ととるこの友好関係（過去完了・強調構文）	後期中間まで １４時間	なし
		「外国語表現の能力」			

		・単元の文法を使った表現ができるようになる。	・教科書のフレーズを何度も音読した後、習った文法で自分の文を書く。	・正しく比較級を活用できているか。	・スピーチテストを行う。
		「外国語理解の能力」			
		・文脈に沿って、習った文法を理解できる。	・ワークシートを活用し、本文で使われている文法の理解を深める。	・新しく習った文法を理解しているか。	・小テスト、定期テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本とトルコの友好関係について理解する。	・パワーポイント等を用いて説明する。	・本文内容をりかいできており、それを人に説明できるか。	・ペアワークでクイズを出し合い、理解できているかを確認する。
後期期末まで １６時間	太陽光発電、風力発電など新エネルギーと環境問題をテーマに学習する 世界平和のために必要なこと、世界平和を象徴するもの、国際社会で活躍する団体などをテーマに学習する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文に関するプレゼンテーションを行う。	・スクリプトを班で準備し、文法などに間違いがないかを確認する。	・自分の伝えたい内容を正しく表現できているか。	・プレゼンテーションを行い、評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・本単元で学んだ文法を用いて、自分の考えを表現できる。	・パワーポイントを用いて、視覚的に文法を説明し、理解を深める。	・正しく文法をつかうことができているか。	・プレゼンテーションを行い、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では実施しない。）	・本文に即した確認問題を解く。	（本単元では設定しない）	なし
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・本単元で学んだ文法を正しく理解し、表現できる。	・文法を視覚的に学び、ワークシートで理解を深める。	・同じ文法であれば、所見の英語でも理解できるか。	・小テスト、定期テスト。